

科目名	臨床実習Ⅱ		
単位数	8単位	時間数	400時間
実施年度	2019年度	実施時期	7月1日～9月7日
対象学科・学年	作業療法学科(夜間部) 4年次		
授業概要	学内セミナーにて作業療法評価や介入の模擬的なトレーニングを学生同士や模擬症例使用し行った後、学業ごとに割り当てられた臨床実習施設にて10週間の実習を行う。実習後は体験した来た実践を振り返り知識・技術について共有する。		
実習目標	社会人・職業人として適切な人間関係を実習施設で構築することができる。		
	担当症例について作業療法評価を実施し、作業に焦点をあてた作業療法実施計画を立てることができる。		
	担当症例について立案した作業療法プログラムを作業に基づいて安全に配慮しながら実施することができる。		
	作業療法プログラムを適宜修正しながら進めることができる。		
	実施した作業療法について、作業療法理論やICFIに基づき報告書としてまとめることができる。		
実習計画	実 習 内 容		
	1		
	2		
	3	6月24日～6月29日 臨床実習Ⅰ事後セミナーおよび臨床実習Ⅱ事前セミナー	
	4	臨床実習Ⅰで体験してきた症例を通したペアワーク	
	5	(学生同士での検査・測定実習および、体験してきた症例を通した評価計画および作業療法プログラム立案演習)	
	6	7月1日～9月7日:臨床実習Ⅱ(10週間)	
	7	※施設の就業規定に応じて5日/週を基本とする。	
	8	9月9日～9月21日:事後セミナー	
	9	臨床実習Ⅰ、Ⅱ全体を通して体験した症例について、日本作業療法学会の規定に準じて症例報告を実施する。報告会日程は別途提示するが、日程に応じて担当教員の指導の下準備する。	
	10	また、上記指導を通して、作業に焦点をあてた作業療法実践についての職業的アイデンティティを育てる。	
	11	臨床実習Ⅱ終了後は、12月実施の学力試験Ⅰまでの期間、国家試験対策講座およびグループ学習について、スケジュール、内容を別途提示しセミナーを開催する。	
	12	また、学力試験Ⅱまでの期間も国家試験対策講座およびグループ学習について、スケジュール、内容を別途提示しセミナーを開催する。	
	13		
	14		
15			
評価方法	臨床実習成績評価報告書および12月に実施する国家試験形式の学力試験Ⅱの成績を総合して判定する。		
履修上の注意	臨床実習期間中は、小さな問題や困りごとは担任または学校まで報告・相談すること セミナー期間も出席すべき日数としてカウントするので、体調管理を徹底してほしい。		